

情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



2年生 算数

授業の様子

2年生の算数では、時刻と時間の学習が行われていました。

「7時45分」を表している時計を見て時刻を答える場面では、先生が「8時かな？と思った人いない？」と問いかけ、子どもたちは「8に近いけど、まだ8を超えていないから」など、自分の言葉で理由を説明していました。

発表する場面も多くあり、その都度「聞き方名人は？」「目がずっとこっち向いてる！」と、聞く姿勢も認められていました。子どもたちは安心して発表し、友だちの話をしっかり聞こうとする様子が見られました。



学びのつながり

門真小学校では、さまざまな学年でデジタル教科書を活用しながら学習を進めています。

今回の授業でも、電子黒板などICTを活用しながら学習を進めていました。

一方で、低学年の発達段階に合わせて、実際に時計の針を動かす具体物も取り入れられていました。デジタルのよさと具体物のよさを組み合わせながら、時間の感覚をつかめるよう工夫されていました！

すてきな姿 ✨

友だちと考えを共有する場面が多く、反応や姿勢のよさがたくさん見られました。

また、みんなで立って答えを言う場面では、困っている友だちに気づき、そっと教えに行く姿がありました。教えてもらった人も笑顔になり、最後はみんなと一緒に答えることができていました。自然に助け合うあたたかい雰囲気がとても素敵でした。

